

「知」が生み出すソリューション。
社会の課題を解決する学び。



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学経済科学部

学部案内2026

NIIGATA UNIVERSITY
FACULTY OF
ECONOMIC SCIENCES

経済学プログラム

ECONOMIC STUDIES

社会や日常生活との深い関わりを持ち、
将来の進路や国際的な視野に活かせるプログラム

(写真左から)

酒井 太一さん、鈴木 成愛さん、三上 尊矢さん、小西 真広さん

経済学を選んだ理由

三上さん／経済学は日常生活や国際社会の根本的な問題を分析する学問であり、統計やデータを活用して実証的に問題を分析する力をつけることができます。私自身は前年度まで経営学に関心がありましたが、経済学を理解を深めたいと考えたため経済学プログラムを選びました。

関心があること

鈴木さん／経済学は社会の中のあらゆる物事と関連していて、経済学の探究により様々なことへの理解が深まると考えています。そのため本プログラムでより幅広く社会への理解を高めると共に、自分の関心・将来の展望としてグローバルな視野で活躍できる存在になりたいと考えているのでそうした分野への探究を深めていきたいです。

酒井さん／経済学は我々が営む生活に密接に関わっていますが、私が志望する職業である銀行員とも大きな関わりがあります。大学で学んだ経済モデルを地域という経済社会に活かせるようになりたいです。

学びを生かすには

小西さん／将来は金融関係の職種に就きたいと考え、1, 2年生の時に経済学の初歩的な理論について学んできました。そして、3年生ではより専門的なことを学び、金融関係の職種に活かせるように励んでいきたいです。



経営学・会計学を学ぶ面白さ

(写真左から)

武田 優菜さん、若目田 有生さん、
松本 大和さん、伊藤 慧さん

経営学プログラムでは企業の行動について多面的に学びます。4人の学生に経営学・会計学を学ぶ面白さを語ってもらいました。

松本さん／経営学・会計学は、データと理論を結びつけ、ビジネスや企業行動の謎を解く知的冒険です。膨大なデータから「なぜ」を問い、仮説を検証することで数字の背後にある経営の真実を見抜く面白さがあります。あなたの分析が次世代のビジネスを動かす鍵となります！

伊藤さん／このプログラムの魅力は、「実践的な知識を幅広く学べる」ことです！経営学だけでなく会計学やマーケティングも学べ、それらは中小企業から大企業まで実際に活用されています。経営学プログラムで学びを深め、卒業後も生きる知識を身に付けましょう！

武田さん／会計学や経営学を学ぶことで、企業の財務状況や経営の現状を数字から読み解けるようになります。お金の視点に加え、マーケティングや経営戦略など様々な角度から企業行動を理解できるようになり、とても面白いです！日々の学びが実社会の見方を変えてくれます。

若目田さん／経営学プログラムでは、企業活動の裏側にある数値の意味や理論を学び、その実態を客観的に捉える力を身に付けられます。私は、データから企業行動を読み解く点に面白さを感じています。理論と実践が融合した魅力的なプログラムです。

経営学プログラム

MANAGEMENT STUDIES



専門分野の境界を超えて、 日本と世界をつなぐ

(写真左から)

諸塚 芽衣さん、布川 友翔さん、佐藤 奈々さん、藪田 魁心さん

学際日本学を選んだ理由

佐藤さん / 1年次に経済の基礎を学ぶうちに社会や文化の背景にも目を向けたいという思いが強くなりました。そんな時、学際日本学プログラムでは経済学と人文学の両方を学べることを知り、自分の興味や学びたいことにぴったりだと感じました。

布川さん / 特定の専門というより、もう少し幅広い分野の問題に触れる機会を求めていたため学際日本学プログラムが最も適していると感じました。

藪田さん / 私は音楽や文学など主に文化に興味があったので、経済にとどまらず幅広い分野を学べると聞いて選びました。

諸塚さん / 趣味と興味を掛け合わせて学問として学べるプログラムなので、前から鑑賞を趣味としているアニメと1年次の授業を通して興味を持ったジャンルを組み合わせたいと思いました。

学際日本学での学び

布川さん / いくつもの学問分野にまたがる中で、探究するテーマも一人ひとり違うため、グループワークによる対話を通じて多様な面から日本を見つめることができます。

藪田さん / 色んなことに興味を持つ人たちと会話しながら学ぶことで自分の興味のある分野を別の視点から考えることができ、学習の刺激にもなります。

諸塚さん / 歴史的背景や社会状況といった視点からアニメを捉え直すことで、自分の知らない一面を発見できました。

佐藤さん / 現在メディアに関する授業を積極的に履修しており、自分の関心を探求し深めています。自分の進路選択にもつながる学びの場だと感じています。



地域リーダープログラム

REGIONAL LEADERSHIP STUDIES

広がる出会い、繋がる社会

(写真左から)

佐藤 惇矢さん、峯田 彩羽さん、
山田 竜太郎さん、畑野 美紀さん



地域リーダープログラムは経済・経営分野を中心とした専門知識に加え、「考える力」「調べる力」「他者と協働する力」を学内外の多様なフィールドでの授業を通じて実践的に学び、身に付けていくことができるプログラムです。

本プログラムを支える教員陣は、経済・経営に留まらず芸術や教育など広い分野にわたり、また、元国家公務員といった多様な経歴・専門を持つ方々で構成されており多角的な視点からの学びを日々得ることができます。

大きな魅力の一つである実践型演習では、企業や行政機関の職員、中高生など、多様な背景を持つ幅広い世代の方々と協働しながら、地域の課題に取り組むことで、多くの経験を積み、実践力を育むことができます。

刺激的な出会いの中で、関わりの輪が広がることは、一人一人の自己実現にも影響します。実践経験の過程で生まれた新たな目標や関心が次に繋がり、皆で成長していくことができます。

地域リーダープログラムで皆さんをお待ちしております！





経済から、多面的に、人間を、世界を、知る

経済科学部ではなにをどう学ぶの？

私たちを取り巻く社会経済環境が大きく急速に変化していく中で、経済科学部は、社会を見る確かな目を持って、主体的に課題解決に取り組める人物を育てることを目標としています。そのために、社会を見る目の中心に「経済学と経営学」を据え、「経済学と経営学を深める」学位プログラムと、「経済学や経営学から広げる」学位プログラムを用意しています。経済学と経営学を「深める」学位プログラムには、「経済学プログラム」と、「経営学プログラム」があります。経済学や経営学から、さらに哲学・歴史といった人文科学まで、学びを「広げる」学位プログラムとして、「学際日本学プログラム」と「地域リーダープログラム」という特徴的なプログラムがあります。

経済科学部の全体像と各学位プログラムの人材育成目標

FOUR PROGRAMS

経済学・経営学を

深める

学位プログラム

経済学プログラム

経済学の知識を中心とした幅広い視野から課題を探究できる能力を有し、国内外の企業や公的団体などで中核的役割を担う資質を有する人材を育成します。

学際日本学プログラム

経済学・経営学を中心に、人文社会科学の専門知識に基づいて、日本をめぐる環東アジア的文脈を理解し、複合的な観点から現代日本の抱える課題に取り組むことができる人材を育成します。

経済科学部全体像

経営学プログラム

経営学と会計学の専門知識の修得を通じて、民間企業のみならず公的機関や会計事務所・監査法人などにおいても活躍できる人材を育成します。

地域リーダープログラム

経済学・経営学を中心とする人文社会科学の専門知識に基づいて、社会の現状の正確な理解と望ましい社会のあり方を考察でき、さらに多様なステークホルダーを巻き込みながら地域社会の課題を解決できる人材を育成します。

経済学・経営学から

広げる

学位プログラム

● 学位プログラム選択

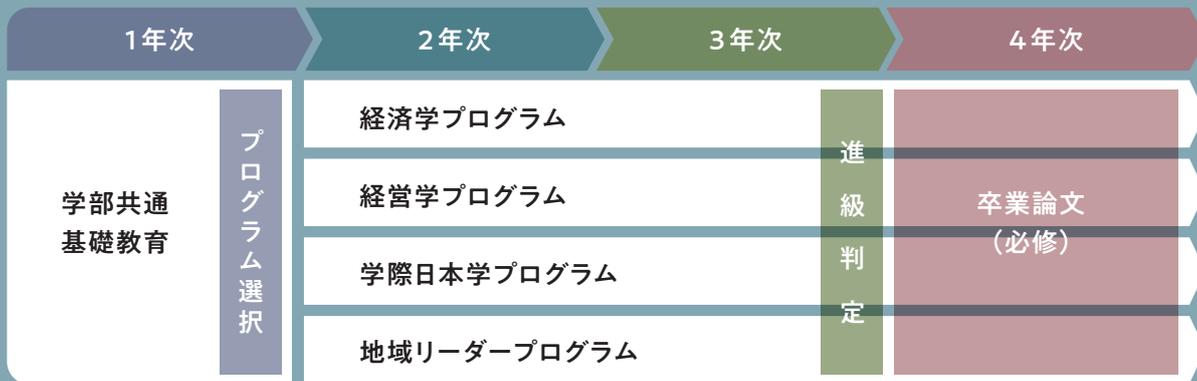
- 経済学プログラム
- 学際日本学プログラム
- 経営学プログラム
- 地域リーダープログラム

1
年次

● 学部共通基礎教育

2
年次

3
年次



学修の流れ

FLOW

経済科学部の学生は、
4年間を通して次のような流れで学修します

- 1 学部共通基礎教育 …… 1年次に入学した学生は、全員が学部共通基礎教育を受けます。
- 2 学位プログラム選択 …… 1年次の終わりに、履修する学位プログラムを選択します。各プログラムへ進級した後は、それぞれの学位プログラムのカリキュラムに従って専門的な内容を学修します。
- 3 進級判定 …… 3年次から4年次に進級するには、経済科学部に3年以上在学し、90単位以上を修得する必要があります。
- 4 卒業論文 …… 4年次には、経済科学部での学修の集大成として卒業論文を作成します。



● 卒業論文

卒業までのカリキュラム概要

CURRICULUM

経済科学部には、特徴的な4つの学位プログラムがあります。1年次に入学した学生は、4プログラムに共通する基礎科目や大学学習法などを学びます。2年次から学位プログラム選択を行い、様々な科目や演習などを履修しながら、当該プログラムでの専門性を追求します。また、自身の研究やキャリアのために必要ならば、学位プログラムを越えた科目の履修も可能です。



年次	科目区分		単位数
	1年次	①アカデミックスキル科目 大学における学修に求められる語学力や、自ら思考し、調査し、論述するスキルの基礎レベルを修得するための科目	学部共通基礎科目
外国語			英語 初修外国語
2年次	②知識・理解科目 専門知識の修得を目指し、主に講義形式で行う科目	学部共通基礎科目	8単位
		教養教育に関する科目	専門科目
3年次	③実践学修科目	専門知識の定着と実践への活用を目指し、主に少人数の演習形式で行う科目/学生が主体となって行う研究・発表・討論など	
4年次	④卒業論文	①～③で修得した知識・スキルを活用し、学修の集大成として卒業論文を執筆するための科目	8単位
	⑤自由選択科目	上記の科目区分に含まれない科目	-
	合計		124単位

2単位の科目の場合、通常は90分の授業×15回（定期試験の回を除く）



経済学プログラム

ECONOMIC STUDIES

動画はこちらから



プログラムの概要

経済学は、生産・流通・消費という人間にとって欠かせない活動を対象とする学問です。

本プログラムでは、経済学の多様な考え方を学び、我々が日々直面する経済問題を分析する能力を養います。また、日本だけでなく、アジアやヨーロッパをはじめとしたグローバル経済の専門的知識も修得することができます。

学び方の特徴

経済学に関する専門知識を体系的に身に付け、社会現象や現代社会を正しく理解、分析する能力を身に付けます。また、ゼミ形式で、現実の社会問題を根源的に考察したり解決策を模索することで、経済学の知識を常に現実の問題と結びつけ、幅広い視野を持って課題解決に取り組める能力を身に付けます。

TOPICS

統計的因果推論でデータから真実を見抜く

因果推論の歴史は古代ギリシャの哲学者アリストテレスにまで遡ります。彼は、「原因となる行為には結果があり、結果となった行為には原因がある」という因果律を提唱しました。これは、科学的な探求や理論形成において重要な概念となりました。科学の発展において、因果関係を理解し、その関係性を説明することは基本的な目的とされています。

科学研究において、特に医学では、因果関係を明確にするためのランダム化比較試験(RCT)はゴールドスタンダードとされています。RCTでは、研究対象をランダムに処置群と対照群に分け、交絡因子の影響を制御します。これにより、例えばワクチンの有効性を評価する際には、ワクチン以外の要因の影響を排除して効果を検証

することができます。

しかしながら、社会科学においては、法的・倫理的な制約や社会的規範のため、このようなRCTの実施が難しいときがしばしばあります。例えば、結婚が女性の就業に与える効果を科学的に解明するために人々を無作為に分けて実験することは倫理的な問題があります。科学研究のために、人々をくじ引きで「結婚する」グループと「結婚しない」グループを決めることが社会に受け入れられないことは明らかでしょう。

データサイエンスや人工知能が注目されている現代においても、単にデータがあるだけでは「原因」と「結果」を特定することはできません。散布図で見られる直線的な関係は因果関係ではなく、単なる相関関係かもしれません。因果関係を正確に抽出するためには、適切な統計モデルや因果推論の手法を用いることが不可欠です。

張俊超
労働経済学・
統計的因果推論



こんな人に オススメ

- 社会の成り立ちを、経済学のアプローチで理解したい人
- この変動の時代に、各国経済やグローバル経済を理解したい人
- 金融論を学んで金融業に進むなど、学んだことを活かした仕事に就きたい人
- 地域社会や国際社会で活躍する意欲を持っている人



こんな人にオススメ

- 株式会社など企業に興味がある人
- アイデアをビジネスの形にしたい人
- 企業への就職や企業をサポートする仕事に就きたい人
- 簿記などの会計知識を活かして会計専門職を目指したい人

動画はこちらから



経営学プログラム

MANAGEMENT STUDIES

プログラムの概要

経営学プログラムでは組織について学びます。経営を広く理解する経営学、組織の活動を貨幣単位で表現する会計学を主たる学問領域とし、組織に関わるあらゆる現象を理解・分析する力を養います。その分析対象は、主として株式会社に代表される企業ですが、地方自治体や非営利組織など様々な組織も学問の対象となります。

学び方の特徴

講義では、組織論、戦略論、マーケティング、人的資源管理、会計学、税務などの専門知識を体系的に身に付けます。3年次から始まるゼミでは、起業体験、企業や自治体と連携した実習、企業データの分析、国内外の企業の事例分析などを通じて実践的な問題解決能力を養います。さらに、公認会計士、税理士、日商簿記検定などの資格取得を目指す学生向けのカリキュラムも用意しています。

TOPICS

データで読み解く企業行動

藤田 健人
財務会計論・経営分析論

会計は「企業の言語」とも呼ばれ、企業の経済活動を測定・記録・報告する役割を担っています。経営者など企業内部の人々は、会計情報を用いて株主や銀行などの外部の人々に自社の状況を正確に伝えることができます。逆に、外部の人々も会計情報を丹念に読み解くことで企業の実態を知ることができるのです。

私が専門とする実証会計は、企業の会計情報を中心に、株価や非財務情報などの様々なデータを統計的に分析し、企業行動やその背後にある利害関係者の意図を解明する研究分野です。例えば、「どのような企業が倒産しやすいのか?」「利益が増えると株価は上がるのか?」「経営者は会計情報を操作しているのか?」など、会計に関連する様々な疑問の解明に取り組んでいます。



アントレプレナーに関する教育と研究

アントレプレナーとは、「手もとにある経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報/知識)にとらわれることなく、新しいビジネス機会を追求する姿勢(=アントレプレナーシップ)」をもって世の中に革新(イノベーション)をもたらす存在のことです。アントレプレナーは、各種の問題(顧客ニーズ等)を解決しようと、多様な解決策(製品やサービス等)を創出しています。

伊藤 龍史
ベンチャー経営戦略論・アントレプレナーマーケティング論



アントレプレナー的な姿勢を身に付けることは、起業する場合はもちろん、会社員や公務員等であっても、さらには顧客であっても、ますます必要かつ重要になっています。こうした背景のもと、ビジネスづくりや企業とのコラボレーションなどに取り組むこと等を通じて、アントレプレナーシップに関する実践的な教育・研究を行い、理論構築を目指しています。

学際日本学プログラム

INTERDISCIPLINARY JAPANESE STUDIES

動画はこちらから



プログラムの概要

学際日本学は、社会科学と人文科学の垣根を越えて、政治・経済から思想やアニメーションに至る、「日本」の社会と文化の幅広い問題を対象とします。留学生との対話を積極的にカリキュラムに取り入れ、異なる境遇や価値観の人々と共に学び、現代日本の課題を見つめなおし、積極的に情報発信する姿勢を身に付けることができます。

学び方の特徴

複数の人文社会科学分野の基礎知識を選択し、修得することによって、「日本」を多角的に分析し、理解する方法を学びます。グローバルな視点から日本をめぐる問題を理解するために、外国語の学修を重視します。留学生をまじえたゼミで活発な議論を繰り返すことによって、粘り強い対話力と協働力、課題解決能力を身に付けます。

TOPICS

高垣里衣
西洋経済史

世界を知り、グローバル化した社会を 生き抜くための経済史研究

スペインを構成する一地域であり、大西洋に面したバスク自治州の港湾都市を研究対象として、ローカルな地域を持つ、国家を超えたダイナミズムを、商業史・経済史の視点から研究しています。スペインとは異なる独自の言語や文化を継承しつつもスペインという国家の枠組みの中に存在しているバスクの商人は、南北アメリカ大陸、マニラ、中国、インド、アフリカなど世界のあちこちに出ていって、異文化を持つ人々とネットワークや信用関係を構築して貿易を行っていました。現代人が所与のものと考えている「国家」という近代的枠組みに基づく思考から脱却することで、ローカルな人々の国家の枠に捉われない活動が、国家や帝国に対し与えた経済的影響を明らかにしようとしています。

他にも、バスク人はヨーロッパで一番最初に捕鯨を行った人々であり、漁業が栄えた地域であることから、捕鯨と漁業を環境史の視点から考える共同研究も行っています。

我々がグローバル化した現代世界を知り、生き抜くためには、「世界」を構成している諸地域の歴史や経済システムの成立過程を学ぶ必要があります。そのような、諸地域の連関を考える研究潮流を「グローバルヒストリー」と呼びます。無論、世界を見ているだけではなく、地に足をつける必要があります。グローバルヒストリー研究では、何よりもローカルの存在が必要です。地道な地域研究や経済分析を行いつつも、大きな世界を見通す研究が必要なのです。



こんな人に オススメ

- いろんな視点から「日本」について、理解を深めたい人
- 自分の常識を壊してくれる国に行ってみたい人
- 国際的な視野を身に付けたい人
- なにかをやってみたいけれど、まだそれが決まっていない人
- 外国語を使って文化実践をおこなってみたい人



写真撮影：新潟大学写真サークル「FOCUS」

こんな人にオススメ

- 属する組織の名前のみならず自分の名前でも活動したい人
- プロジェクトを実現させるチームに加わりたい人
- 社会を知るために大学外の人々とも協働したい人
- 経済学と経営学を軸に、人文学や法学も学びたい人

地域リーダープログラム

REGIONAL LEADERSHIP STUDIES 動画はこちらから



プログラムの概要

将来を見通せない現代社会では、課題を分析するための幅広い知識だけでなく、自ら解決策を立てリーダーシップを持って実行できる人材が求められます。本プログラムでは、未来の地域社会で活躍できる人材を育成するため、専門知識と課題解決に必要なスキルの学習とこれらの知識・スキルの活用・実践を有機的に組み合わせた教育を行っています。

学び方の特徴

最初に、社会の理解・分析に必要な経済学や経営学などの専門知識と課題解決に必要なスキルを学びます。その後、これらの知識・スキルを学内のゼミナールや学外の課題解決活動で活用・実践します。このプロセスを段階的に繰り返し、課題解決能力を総合的に高めます。主な授業科目には、課題解決スキル、社会調査演習、課題演習、社会開放演習があります。

TOPICS

多様化する現代社会での地域リーダープログラム

現代社会では、全ての人々がこれまで経験したことがない課題に直面し、それに対して分からないといって立ち止まることが許されません。地域リーダープログラムは、こうした時代を生涯にわたり活躍できるような人材を育成することを目指して作られました。担当教員それぞれは、学生一人一人が唯一無二の存在として未来社会で活躍できる人になれる大学教育を作ろうと、日々格闘しています。

多様な背景をもつ担当教員

地域リーダープログラムの担当教員は多種多様な背景を持っています。研究分野に限っても、財政学、地方行財政といった経済学に近い分野だけでなく、書文化、フランス語教育、高等教育学、義務教育課程での子どもの権利というように広範囲にわたります。また、長い時間をかけた教育・研究活動

を通じて一つのモノの見方に精通しています。学生の皆さんは、学内外で行われる授業でプログラム担当教員と積極的に関わることで、それぞれの教員がもつ独自の世界観を肌で感じ取ることができるでしょう。

多様な学び方

地域リーダープログラムの学びは、専門知識に加え、考える、調べる、他者と協働するスキルを身に付け、それらを学内外で行う授業で活用・実践することを組み合わせた学びです。

とくに、知識・スキルを活用・実践する授業として、社会問題を深く探究する授業だけでなく、企業や行政、団体などと連携して中高生や社会人と協働して地域の課題解決活動に取り組む授業も数多く設けています。学生の皆さんは、これらの授業から個々の興味・関心に応じて選択・実践できますので、自身の目標に合わせた個性的な学びを創造できるでしょう。

中東雅樹
財政学



STUDY FOR INTERNATIONAL PERSPECTIVE

世界に広がる学び

経済科学部では、提携大学・提携学部との交換留学、サマーキャンプなどの各種企画、留学生との共修などを通じて、国際的な視野を養うことが可能です。グローバルな視点を身に付けたいと考える学生を、経済科学部では積極的に応援して参ります。



「新しい環境に挑戦し、視野を広げたい!」という思いから、約5か月間中国に留学しました。中国語が飛び交う環境に戸惑いましたが、友人との交流で不安が解消しました。現地の学生や留学生との交流を通じて異なる価値観を学び、自分自身や自国について考える貴重な経験を得ました。また、韓国、ロシア、ドイツなど出身のクラスメートと共に、中国文化をテーマにしたダンスと歌の発表を行い、文化を深く学ぶ機会となりました。

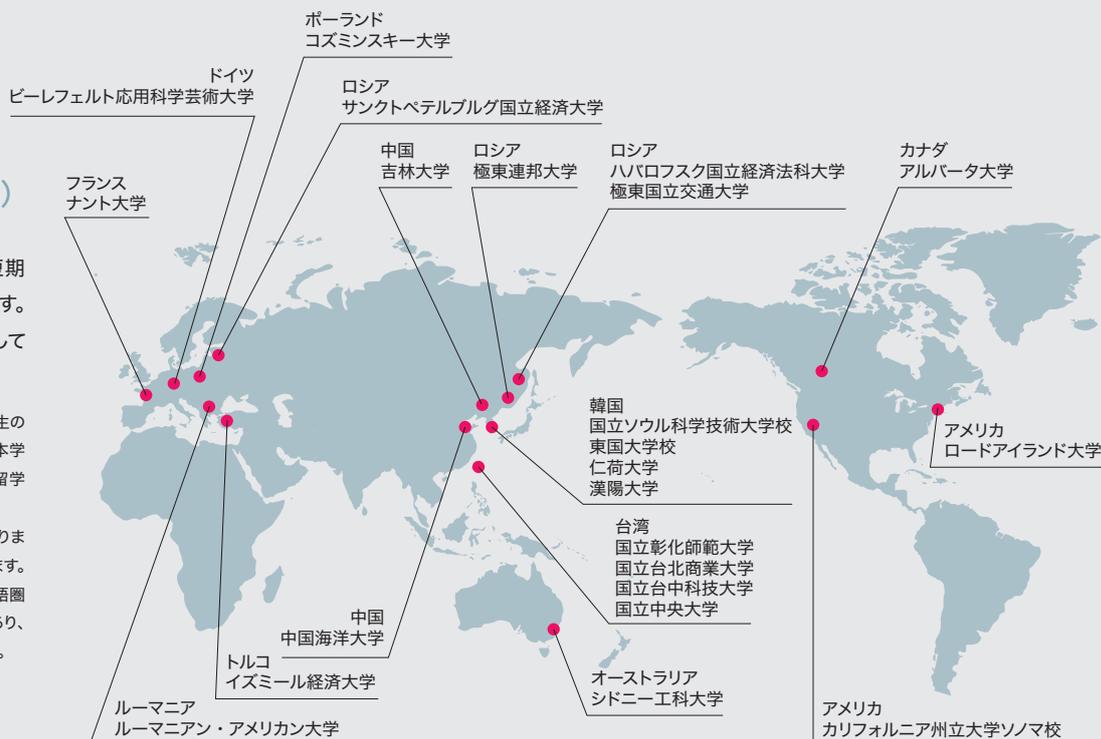
カナダでの日々を通して、「勇気を出せば世界が変わる」ことを実感しました。自ら積極的に話しかけるとい小さな挑戦を重ねた結果、かけがえない友人たちと出会うことができました。大学には多様なバックグラウンドを持つ学生が多く、彼らとの交流を通じて、異文化への理解を深めると共に日本を客観的に捉える視点も得られたと感じています。カナダで培った広い視野を、これからの生活に活かしていきたいです。

交換留学(長期・短期)

3か月、半年、1年などの長期・短期交換留学に挑戦する学生がいます。また、海外の交流協定校から留学してくる学生もいます。

(注)交換留学とは、協定校と互いに受入学生の学費を不徴収とする留学を指し、在学学生は本学に学費を納めている期間中であれば、交換留学先の学費が免除されます。

交換留学には学内選考が課される場合もあります。このほかにも多様な留学先・方法があります。留学先へ学費を納める私費留学の形で、英語圏のカナダ・アルバータ大学とも交流協定があり、本学部を休学して留学するケースが多いです。



CAREER PROSPECT 広がるキャリアの可能性

卒業後の進路は公務員や金融業をはじめとして多岐にわたり、卒業生は全国各地で幅広く活躍しています。経済科学部でもインターンシップ科目があります。皆さんが就職活動を行う時には、本学キャリア・就職支援オフィスによる手厚いサポートに加えて、頼れる先輩方からバックアップしてもらうことができます。

山崎 恵美 中央省庁 / 2024年度 経済学プログラム卒業

私は様々な問題に対し、データを使って理解を深める計量経済学という分野についてゼミで学びました。ある問題の解決策が他の問題を招くことがあるかもしれません。その解決策がどの部分に対処でき、どこに対処できないか、対処できない部分に対してどうアプローチすべきかといった課題解決の思考法が修得できたと思います。



佐藤 蓮

株式会社 第四北越銀行
2024年度 経営学プログラム卒業

金融機関に勤めており、主に店頭でお客様と接する預金係を担当しております。大学で経済用語や経済の基礎を理解したこと、簿記を学び貸借の概念・計算や数字に慣れていたことが実際の業務で役立っています。まだまだ様々なことを勉強中ですが、大学で学んだことを活かしながら今後も精進していきたいと思っています。



戸田 智

古河電気工業 株式会社(東京本社)
2024年度 学際日本学プログラム卒業

古河電気工業で営業の仕事をしています。製品の需要は国内外に広がっており、大学時代の学際日本学プログラムで学んだのは今の仕事にも活かされています。学びの全てが仕事に直接関わるわけではありませんが、課題への取り組み方や新しい知識への好奇心、その修得過程で得たスキルは必ず必要になると考えています。



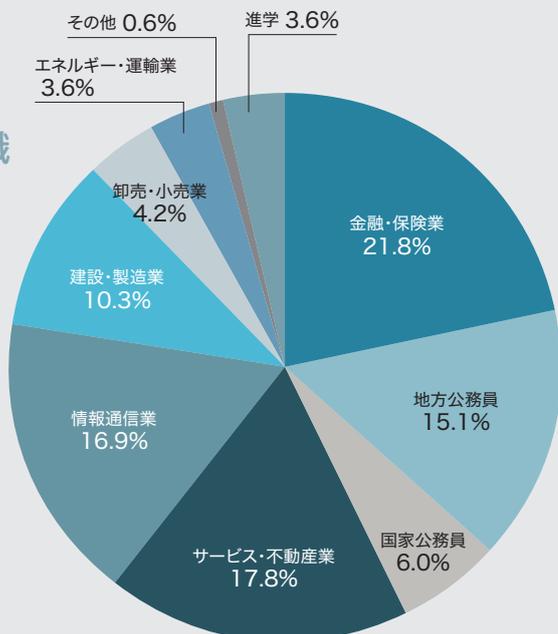
水落 亜久里

株式会社 北國新聞社
2024年度 地域リーダープログラム卒業

地域リーダープログラムでは経済・経営学以外にも、人文・法学部の講義や地方自治体や企業との共修など、幅広い分野に触れることができました。文系・理系の垣根を超えた横断的な学びは、就職や進学の見込みが広がるのはもちろん、社会人として働く中でも様々な場面で役立っていると感じます。

卒業生の進路・就職

2024年度



キャリア支援(サポート)

本学部は、学生に対する以下のようなキャリア支援を行っています。

- 外部講師を招いたキャリアガイダンス・就職相談会
- 新潟県内企業や新潟県庁・新潟市役所など官公庁でのインターンシップ(成果報告会も開催)
- 会計・税理士事務所での会計・税務インターンシップ
- 本学キャリア・就職支援オフィスと連携して行う個別指導

※本コーナー記載の内容は経済学部・経済科学部での実績です。

志ある人を求む!

新潟大学経済科学部がどういう場であってほしいか。私の願いは、入学した学生の皆さんが人間として成長する場であってほしいということにつきます。ではどんな時に人は大きく成長するのでしょうか。それはその人の心に、何かをしたい、やりたいという意欲、つまり火が灯っているときではないでしょうか。そして心に灯が灯っている人が2人そして3人集まると、その火は必ず大きくなります。そんな体験をする時間が1年でもあれば、人は驚くほど人間的に成長します。新潟大学経済科学部が、心に灯が灯った学生であふれ、そうした学生たちの出会いによって、いたるところ燎原の火のように炎が立ち上がり、多くの学生たちが4年間で飛躍的に成長をする場であってほしいと願っています。その思いを込めて、「志ある人を求む!」と言いたいと思います。



入試情報

※各選抜で課す教科・科目、配点、その他入試情報に関しては、新潟大学ホームページより最新の情報をご確認ください。

経済科学部 総合経済学科		
選抜区分	募集人員	判定基準
一般選抜	前期日程	180人
	後期日程	80人
総合型選抜	30人	書類審査、小論文及び面接の総合点の上位から順位付けを行い、合否判定する。
学校推薦型選抜	60人	15人*
		45人**
社会人特別選抜	若干人	小論文の得点に調査書など出願書類の内容を加味して総合的に合否判定する。
帰国生徒特別選抜	若干人	小論文の評価及び面接の評価に出願書類の内容を加味して総合的に合否判定する。
私費外国人留学生特別選抜	若干人	日本留学試験の成績、英語 (TOEFL) の成績及び日本語による面接の評価に出願書類の内容を加味して総合的に合否判定する。

*商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者(学科の指定なし) **範囲の指定なし

最新の入試情報は、
新潟大学ホームページを
ご確認ください。



真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
TEL 025-262-6284 (経済科学部学務係)
URL <https://www.econ.niigata-u.ac.jp>
E-mail toki@econ.niigata-u.ac.jp

